

# 清水 晃・吉野辰海

## 漆黒の彼方 / 犬の行方

2012年2月11日(土・祝)～3月25日(日)

### 埼玉県立近代美術館

目まぐるしく変転してきた戦後の美術界の中で、清水晃(1936年生まれ)と吉野辰海(1940年生まれ)は50年以上にわたり、揺ぎない独自の制作を貫いてきました。

ふたりがデビューした1960年代初めは、「反芸術」と呼ばれる、美術の既成概念を破る表現が盛んな時代でした。その真只中で、清水と吉野はそれぞれ制作活動を始めます。清水は廃品を用いた作品やコラージュなどを発表し、吉野は前衛芸術のグループ「ネオ・ダダ」に参加するなど、ともに若くして注目を集めました。

やがて新奇な表現を熱狂的に追い求める時代が過ぎ去ると、ふたりは自らの原点をもう一度見つめ直しながら、次第に新たな境地を築き上げていきます。清水は幼少期の原体験を振り返りながら、1970年代以降、自らの内面や記憶の奥底を凝視する表現に向かいます。とりわけ〈漆黒から〉と題する素描とオブジェは15年近く継続して制作され、清水の深遠な世界観が見事に結実したシリーズとして、高く評価されています。

一方、子供の頃に愛犬と過ごした思い出を持つ吉野は、1970年代末から犬をモチーフにした立体作品のシリーズに取り組みます。ユーモアや悲哀を感じさせるこれらの犬は、ある時は二本足で人間のように振る舞い、ある時は万物の運動を暗示する螺旋のねじれを伴い、様々な姿に変貌していきます。また、近年では少女の華奢な身体に象と犬の頭部が合体した異形の造形を試みており、更なる展開が期待されています。

この展覧会では、それぞれ独自に活動しながらも、同時代を歩んできたふたりの美術家に焦点をあて、その全貌を代表作によって紹介します。半世紀にわたる清水と吉野の芸術上の探求は、日本の戦後美術における様々な論点を照らし出すだけでなく、今後の美術の行方を考える意味でも重要な手掛かりを与えてくれるに違いありません。

## ■ 出品作家略歴

◇清水 晃 SHIMIZU Akira /1936年富山市生まれ。現在、埼玉県杉戸町に在住。

- 1958年 金沢美術工芸大学洋画科を卒業
- 1962年 村松画廊(東京)で初個展
- 1963年 《色盲検査表 No. 4、No. 9》でシェル美術賞展一席受賞
- 1971年 コラージュ集『絵次元：目沼』を出版
- 1980年～94年 〈漆黒から〉のシリーズを画廊春秋(東京)等で発表
- 2000年 足利市立美術館と三鷹市美術ギャラリーで回顧展を開催

◇吉野辰海 YOSHINO Tatsumi /1940年宮城県柴田町生まれ。現在、埼玉県秩父市に在住。

- 1960年 ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ(ネオ・ダダ)に参加
- 1964年 内科画廊(東京)で初個展
- 1979年 犬のシリーズに取り組み、以後、画廊春秋(東京)、東邦画廊(東京)などで発表
- 1989年 P3 Alternative Museum, Tokyoで「吉野辰海展-水犬」を開催
- 2007年 森美術館「六本木クロッシング 2007:未来への脈動」に出品
- 2009年 〈象少女〉のシリーズをギャラリー58(東京)、東邦画廊(東京)で発表

## ■ 関連イベント

### ◇アーティスト・トーク

出品作家が自作について語ります。(聞き手:担当学芸員)

各日とも午後2時30分～3時30分/当館2階講堂/定員:先着80名/料金:無料

清水 晃 : 2月26日(日)

吉野辰海 : 3月10日(土)

### ◇担当学芸員によるギャラリー・トーク

各日とも午後3時～4時/2階企画展示室内/企画展観覧料が必要です。

2月18日(土)

2月25日(土)

## ■ EXHIBITION DATA

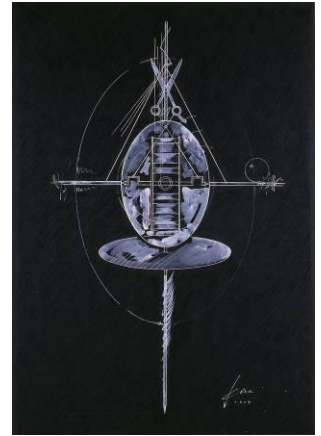
- 1 会期 2012年2月11日(土・祝)～3月25日(日) 休館日:月曜日
- 2 開館時間 午前10時～午後5時30分(入場は閉館の30分前まで)
- 3 観覧料 一般900円(720円)、大高生720円(580円)・・・( )内は団体20名以上の料金。  
※中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(付き添いの方1名を含む)は無料です。  
※併せてMOMASコレクション(1F常設展示室)もご覧いただけます。
- 4 主催 埼玉県立近代美術館
- 5 助成 芸術文化振興基金
- 6 協力 JR東日本大宮支社、FM NACK5
- 7 会場案内 埼玉県立近代美術館 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1 Tel.048-824-0111  
JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分(北浦和公園内)。東京方面からは大宮行きをご利用ください。
- 8 問合わせ 埼玉県立近代美術館 担当:平野、前山  
広報・写真に関するお問い合わせ:植村 [kouhou@momas.jp](mailto:kouhou@momas.jp)  
Tel:048-824-0111(代表)、048-824-0110(学芸) Fax:048-824-0118
- 9 ホームページ <http://www.momas.jp/>



1



2



3



4

埼玉県立近代美術館・企画展広報写真

清水 晃・吉野辰海  
漆黒の彼方 / 犬の行方

1. 清水 晃《リクリエーション》1962年(一部再制作) / 撮影:後藤 充
2. 清水 晃《色盲検査表 No.6》1963年 / 東京都現代美術館蔵
3. 清水 晃《漆黒から 素描 火の子と水滴》1979年 / 足利市立美術館寄託作品(浅川コレクション) / 撮影:後藤 充
4. 清水 晃《漆黒から》1984年 / 撮影:後藤 充
5. 吉野辰海《らせん-双頭犬》1987年 / 撮影:乙咩 雅一
6. 吉野辰海《MONO-KUI》1963年(1996年再制作) / 青森県立美術館蔵
7. 吉野辰海《SCREW 母なる形姿-象少女 I》2009年 / 撮影:銭谷 均
8. 吉野辰海 《SCREW 唐辛子犬》2011年



5



6



7



8

◇写真はデータにて提供いたします。ご請求はメールで、[kouhou@momas.jp](mailto:kouhou@momas.jp) (広報担当・植村)までお願いいたします。

◇出品作家に取材、インタビューをご希望の方は、[kouhou@momas.jp](mailto:kouhou@momas.jp) (展覧会担当・平野)までご連絡ください。